



ガンパツデます

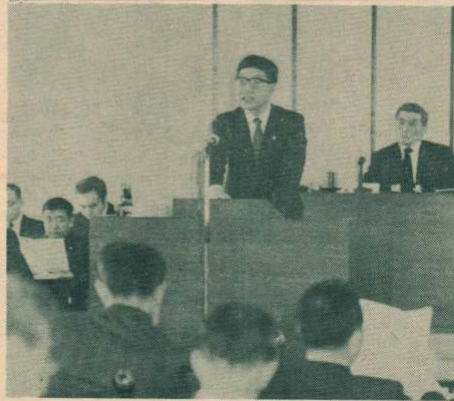
鍛冶屋の

佐々木久七さん

(南神明町)

「だれでも安全に使えぬもの」と考えて造っています」と佐々木久七さん。
佐々木さんは、この道三十五年。いままでのカマやクワ、ハサミなどを使いやすいように改良を加えて新しい製品を造り出しています。特に林業用の枝打ちバサミや除伐ガマなどは、全国の営林署から「安全で使いやすく能率がある」と好評を得ているとのこと。「昔のままの鍛冶屋ではだめで。常に新しいものを考えて造っていかねばいけません」と話していました。

6月定例市議会



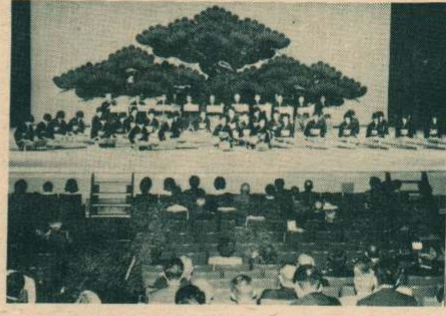
各会計補正予算・公営住宅建設工事契約など

11議案を可決

市民の森にくじやく園 白沢授産施設を建設

今年度一般会計の歳入歳出にそれぞれ四億六千六十二万円を追加し、予算総額は百三十二億九千五百五十八万円となりました。

- 歳入の追加では、五十六年度からの繰越金が二億一千八百二十一万円と最も多く、次いで市債の一億一千九百九十九万、国庫支出金の四千四百七十七万円などとなっています。
- 歳出の補正は次のとおり。
 - ▽民生費 三、九九九万円
 - ・心身障害者居室整備資金貸付金・白沢授産施設改築工事費・老人居室整備資金貸付金・各種検診事業費など
 - ▽農林水産業費五、二四九万円
 - ・農村地域定住促進対策事業費・市民の森孔雀舎の新築工事など
 - ▽商工費 一、七五五万円
 - ・長木川市民のひろば新設事業費など
 - ▽土木費 九、二二二万円
 - ・道路維持費・道路新設改良費・都市計画街路費・長根山運動



文化の殿堂 華麗にオープン

五十五年十月から工事が進められていた市民文化会館が完成し、六月二十七日に千二百人が参加して竣工式と記念式典が行われました。

竣工式の後、県知事、市長、新成人、小中学校一年生、一般市民あわせて十一人の代表によりテープカットが行われ開館しました。

会館記念式典では市長が「近代建築の粋を集め、秋田杉と曲わっぱの美をいかした芸術文化の総合的な施設です。この文化会館が、当市の誇りある歴史と文化の殿堂として市民に夢と希望を与え、心を繋ぐ交流の場として広く親しまれることを念願します」とあいさつ。こけら落としの一番太鼓打ち入れ式、三番叟、芸文連などによる記念公演、演奏会が行われ開館を祝いました。

広報休刊のお知らせ

広報「おおだて」7月16日号は、8月1日に市民文化会館オープン行事特集号を発行しますので休刊します

公平委員に 湊寅之助氏を再任

現公平委員である湊寅之助氏の任期が、五十七年六月三十日で満了するので、その後任案件が今定例会に提出され湊寅之助氏(六十六歳、花岡町宇神山)が再任されました。

行政報告

◆56年度各会計の決算見込み

一般会計は、歳入総額158億2,600万円、歳出総額152億4,800万円、その差引額5億7,800万円となりますが、翌年度への繰越財源2,043万円を差引きますと、5億5,757万円が57年度へ繰り越した見込みです。

次に、水道事業会計の昭和56年度収益的収支の決算額は、収入は7億8,696万円、支出は8億6,706万円、損益計算上では8,010万円の損失となりましたが、昨年10月からの料金改定に伴う増収はあったものの56年度に続く冷夏による平均使用量の落ちこみが響いており、一方費用の面では、企業債償還金及び動力費の増加ならびに減価償却費

の増加等がその主なる理由となっています。したがって、これに対処すべく収益の増加を図るよう一段の工夫をこらし経営の健全化を旨として努力しています。

病院会計の収益的収支の決算額は、収入が39億1,740万円、支出が6億1,620万円、差引9,880万円の損失となる見込みです。これは、昨年6月診療報酬が改定され、同時に行われた薬価基準の大幅引下げによるものです。幸い前年度までの利益金が4億1,400万円となっており差し当たりこれを取りこみず計画です。今後の病院経営はますます困難になるものと予想されますが、鋭意内部努力を積み重ね困難を乗り越える覚悟です。

◆企業誘致の状況について
4月1日付で誘致した二戸電気は、現在8月操業をめぐりに板子石地内に工場を建設中です。
また、医療器具製造及び食品加工関係の2企業については、二井田工業団地への立地を交渉中で近く正式決定の見通しです。この結果、当団地は約71%が分

譲済となるため団地拡張に鋭意努力をしていきたいと思います。その他製鋼関係で3社ほど本市への進出を働きかけており、今後誘致の実現に全力を傾けたいと考えています。若年労働力の域外流出防止と、市の経済活性化のための施策としての企業誘致に特段のご理解とご協力をお願いします。

◆松峰橋の架け替えについて
松峰橋の架け替えについては、その工事費の負担割合について鉾山側と協議いたしました結果、総工事費3,120万円のうち、鉾山側が90%、市が10%の負担で話し合いが付き、工事も順調に進み、すでに完了して供用開始しています。現在橋の取付道路(左岸、右岸合わせて約14m)の工事をしています。
なお、この松峰橋をはさんで、市道釈迦内・花岡線の地盤沈下がかなり進んでいますので、これのカサ上げが必要になっています。いずれこの道路につきましても、鉾山側と協議検討を重ね解決しなければならない問題です。

◆その他の行政報告
・大館広域環境センターの管理運営
・5月中旬の大綱による災害について
・広域し尿処理施設建設事業について

6月定例市議会が招集された6月7日、島山市長が行政報告を行いました。そのなかから主なものをお伝えします。

◆稲の生育状況について
最近では気象の変動が著しく2年続いて冷害等になっており、今年もその様相が散見されるところです。今年こそ冷害を回避し、良質安定多収を図るために技術指導報を発行してきたところです。
今年の種まき作業は、平年に比べて1日遅く開始され、最盛期は4月15日ごろでした。田植は、5月上旬から中旬前半にかけて好天であったため平年より2日ほど早い5月17日に最盛期を迎え、平年より2日早く5月27日に終わっています。
5月13日には大雨があり田植直後の水田12haが冠水の被害を受けましたが、幸い軽微でした。5月16日には晩霜、5月21日には県下に異常低温注意報が発令され、局部的に代枯れや生育遅延が見受けられました。しかし、5月25日以降温暖な日が続いた結果、生育がもち直し平年並みの生育をしています。
57年度の水田利用再編対策は、単純休耕田の解消を重点課題として取り上げてきました。農家から提出された転作実施計画書によりますと、昨年比べて特定